ion-ceramic Eco cera

省電力の救世主

エコセラ

ECOCERA

36，000円（専用テープ付、税込）

節電の努力をしなくても
電力使用料の削減が可能です。

ceramic 不織布

ceramic 不織布

対象　一般家庭、個人のお店等（契約アンペア３０Ａ～６０Ａ）

- ●電力使用料 **約20％の削減**
- ●**1セット**で契約アンペア**60A**まで推奨
- ●低コスト、高効果（償却期間が短い）
- ●取り付け簡単、誰でも作業が出来ます。
  （必ず、弊社指定の**耐熱性粘着テープ**で取り付けて下さい）

〈ご注意〉

1　単相１００Ｖ、単相２００Ｖ電源のみ。

2　下記の場合は、対策が必要です。必ずお問い合わせください。

・分電盤カバーがない場合、カバーが金属製の場合

・屋外にある分電盤の場合（直射日光、風雨対策など）

【セット内容】

商　品　名：エコセラ
材　　質：イオンセラミック、不織布
サ　イ　ズ：５cm×２５cm×２枚
付　属　品：専用粘着テープ１巻

エコセラ 取扱説明書

ECOCERA

【取付方法】

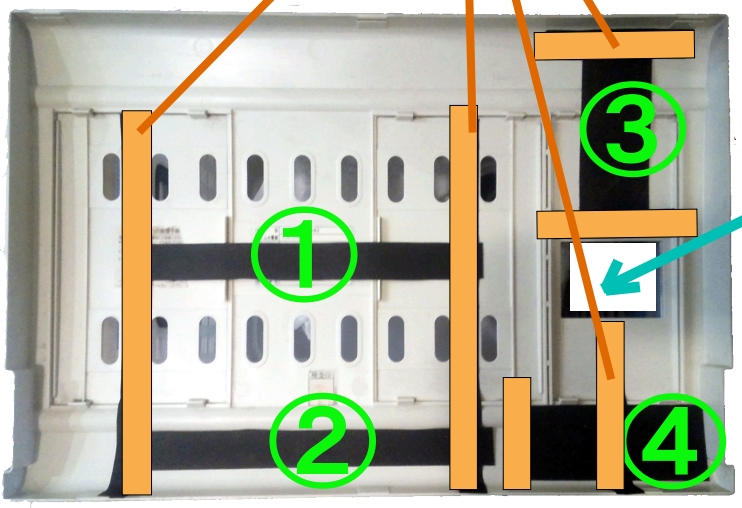
（１）分電盤カバーを外し、粘着テープがしっかり付くように、カバーの内側を乾いた布等できれいに拭き取ります。
（２）「取付例」に習い、エコセラの両端を粘着テープで押さえ止めします。
（３）エコセラは、カバーの形状に合わせ適宜ハサミ等で切ってお使い下さい。

【ご注意】

- エコセラ表面をテープで覆うと、効果が損なわれます。
- 古い分電盤などで金属部がある場合にはエコセラが金属部に触れないように取り付けて下さい。
- 単相１００Ｖ、単相２００Ｖ電源のみ。
- 分電盤のカバーがない場合、カバーが金属製の場合は、お取り付けできません。

分電盤カバーを外し、弊社指定のテープで必ずカバーの裏面に貼り付けて下さい。

【取付例】

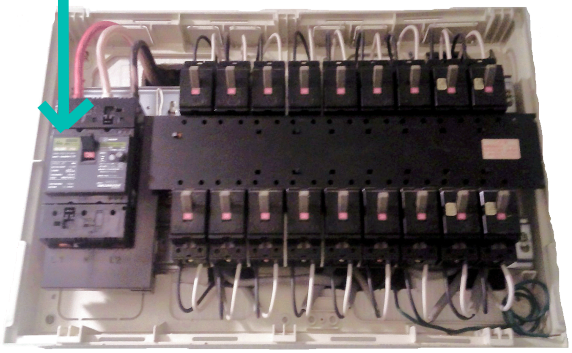


▲分電盤カバー裏面

①②縦に切断して貼付
③④横に切断して貼付

▼分電盤カバー

▼分電盤内部



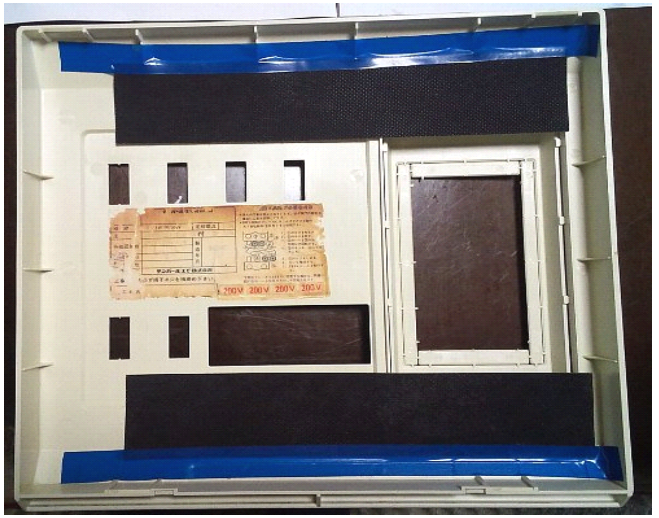
エコセラ

電気絶縁
ビニールテープ

【セット内容】
商 品 名：エコセラ
材　　質：イオンセラミック、不織布
サ イ ズ：５cm×２５cm×２枚
付 属 品：専用粘着テープ１巻

【エコセラ取付例】

左上の写真のように、分電盤のカバーは汚れている事が多いので
綺麗に拭き上げてから、カバーの裏面にエコセラを貼り付けます。



【エコセラ効果の確認方法１】

＜一般のご家庭の場合＞

① ストップウォッチを準備します。

② 家中の電灯を全て点灯して３０分から１時間経過後に計測を始めてください。
これは、スイッチを入れた直後は過電流が流れるためです。また、効果を正確に確認するため、エアコン、洗濯機、レンジ、電気釜など、電気変動が大きい器具の使用は避けましょう。

③ 電力メーターの回転板が５回転（又は１０回転）する時間を計ります。
この時、３０秒掛かったと仮定いたします。

④ 部屋の換気をして、マイナスイオンが発生しやすい環境を作りましょう。

⑤ 分電盤カバーを外し、カバー全体を綺麗に拭き上げて下さい。

⑥ カバーの裏側にエコセラを粘着テープで貼り付け、カバーを元の位置に取り付けます。
全ての計測が終了するまで、ＳＷのオンのオフを絶対に行わないで下さい。
全て同じ条件の下で計測しなければ意味がありません。

⑦ カバー取付一時間後に③と同様に計測します。
５回転（１０回転）が４０秒だったら、
（４０－３０）÷４０×１００＝**２５．０%の削減**
５回転（１０回転）が４５秒だったら
（４５－３０）÷４５×１００＝**３３．３%の削減・・・**となります。

⑧ カバー取付２時間後も計測しましょう。

【エコセラ効果の確認方法２】

＜個人店舗・オフィスなどの場合＞

基本的に一般家庭と同じやり方でできますが、お客様の出入りが多い店舗などでは、冷蔵庫の開け閉めやエアコン使用電力量の変動などにより「エコセラ効果」の確認が困難と思われますので、以下の例を参考にある程度の期間を通算してご確認下さい。

① お店の使用電力量を７営業日の期間について確認します。
初日の電力メーター値を「Akwh」とします。毎朝１０時など計測時間を決め７営業日目の電力メーターの値「Bkwh」を記録します。

② 「エコセラ」を取り付けます。初めの値は「Ckwh」とします。

③ ①と同じく７営業日の期間の記録を取りましょう。
（勿論、電気の使用条件（定休日等を含む）は、エコセラ取付前と同じ条件で測定しなければ意味がありませんネ）

④ 最終日の電力メーター値「Dkwh」を記録しましょう。

⑤ 確認方法
エコセラなし：Ｂ－Ａ＝Ｘ（７営業日の電力使用量）
エコセラ取付：Ｄ－Ｃ＝Ｙ（７営業日の電力使用量）
（Ｙ－Ｘ）÷Ｙ×１００＝▲▲%（７営業日期間の削減率です。）